

区政に対する意識調査等の実施結果について

1 区政に対する意識調査～めぐろの未来アンケート～

(1) 調査対象

目黒区在住の満18歳以上の男女3,000人（住民基本台帳から層化無作為抽出）

(2) 調査方法

郵送方式（回答は電子申請を併用）

(3) 調査期間

平成30年12月5日（水）～12月25日（火）

(4) 回収結果

有効回収数857人（電子申請による回収131人を含む）、回収率28.6%

(5) 調査項目

ア 現在の目黒区のイメージと将来期待する目黒区の都市像

イ まちの魅力と暮らしやすさ

ウ 行政分野別施策（31項目）について、今後10年の間に取り組むに当たっての重要度及び特に優先的に取り組むべきと考える5つの施策

(6) 調査結果

資料1 「めぐろの未来アンケート結果の概要」及び報告書のとおり

(7) 今後の予定

平成31年4月中旬 区内各施設（区政情報コーナー、地区サービス事務所、住区センター、図書館など）に配布、区ホームページで公表
4月25日 めぐろ区報掲載予定

2 区職員へのアンケート調査

(1) 調査対象

平成30年度係長昇任者及び主任昇任者、採用3年目職員 計146人
※長期休業・休職中の職員は対象外とした。

(2) 調査方法

グループウェアのアンケート機能及び交換便

(3) 調査期間

平成30年11月12日（月）～11月30日（金）

(4) 回収結果

計138人

(5) 調査項目

目黒区のイメージ、基本構想・基本計画・実施計画の認知度及び活用方法など

(6) 調査結果

資料2 「《区職員》めぐろの未来アンケート集計結果」のとおり

以 上

〈めぐろの未来アンケート結果の概要〉

①目黒区の現在のイメージ、②将来期待する目黒区の都市像、③まちの魅力、④住んでいるまちの暮らしやすさ、⑤今後 10 年間で取り組んでほしい施策・優先すべきだと思う施策)、⑥区政の進め方について聞きました。

今後、基本構想及び基本計画の改定に向けて、長期計画審議会や庁内検討会における資料として活用します。

1 区民に対する意識調査～めぐろの未来アンケート～

調査対象	目黒区在住の満 18 歳以上の男女 3,000 人
抽出方法	住民基本台帳から層化無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送又は電子申請による無記名回収
調査期間	平成 30 年 12 月 5 日(水)～12 月 25 日(火)
回収結果	有効回収数 857 人、回収率 28.6%

2 《区職員》めぐろの未来アンケート

調査対象	平成 30 年度係長昇任者及び主任昇任者、採用 3 年目職員
調査方法	グループウェアのアンケート機能、交換便
調査期間	平成 30 年 11 月 12 日(月)～11 月 30 日(金)
回収結果	計 138 人

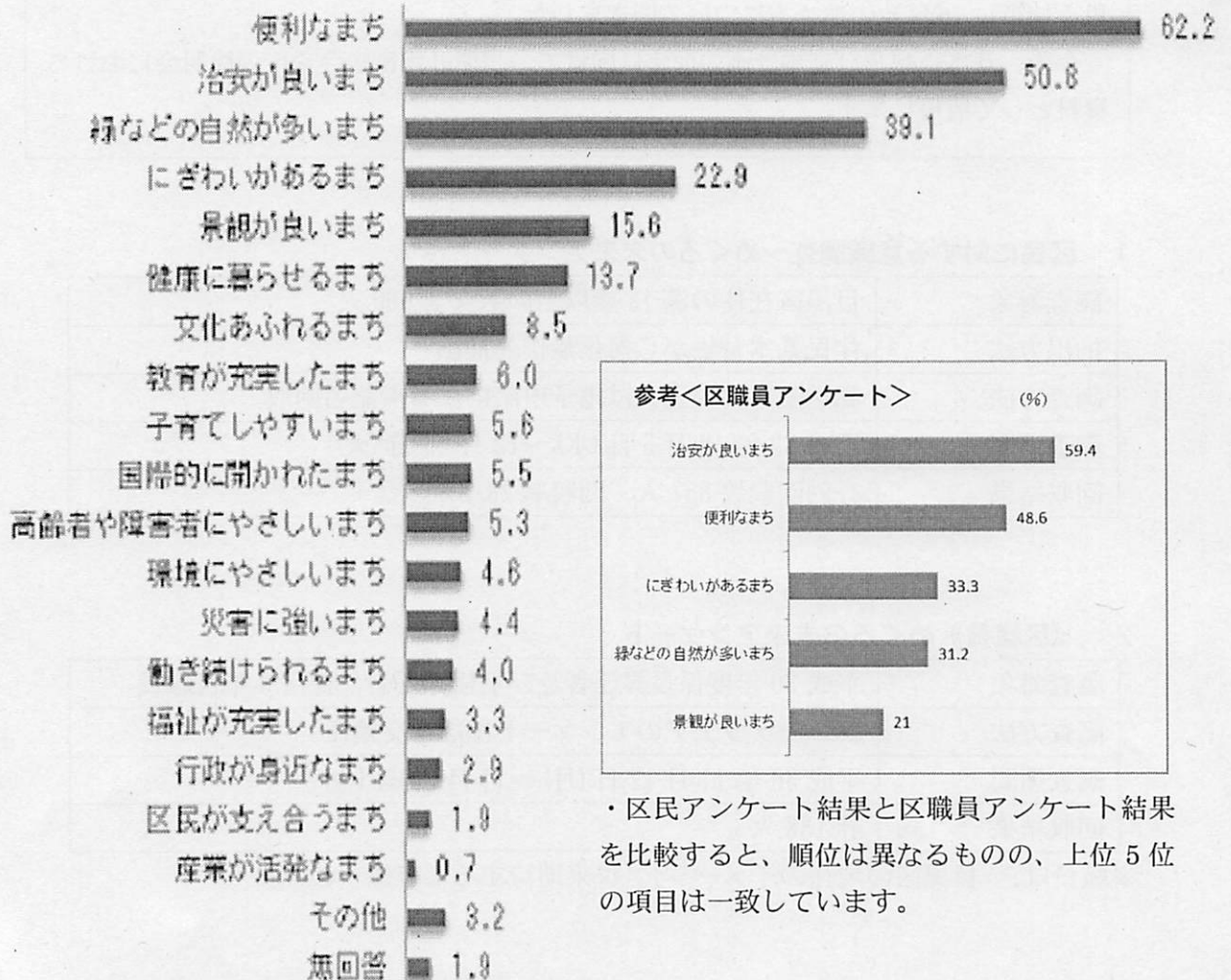
※職員は、「目黒区の現在のイメージ」「将来期待する都市像」のみ。

1 目黒区のイメージについて

現在のイメージと、将来期待するイメージに近い都市像を3つまで選んでもらいました。

(1) 現在の目黒区のイメージ

<区民アンケート> 単位：% n=857



・区民アンケート結果と区職員アンケート結果を比較すると、順位は異なるものの、上位5位の項目は一致しています。

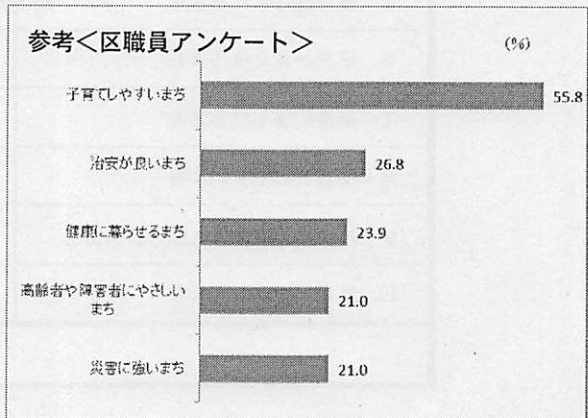
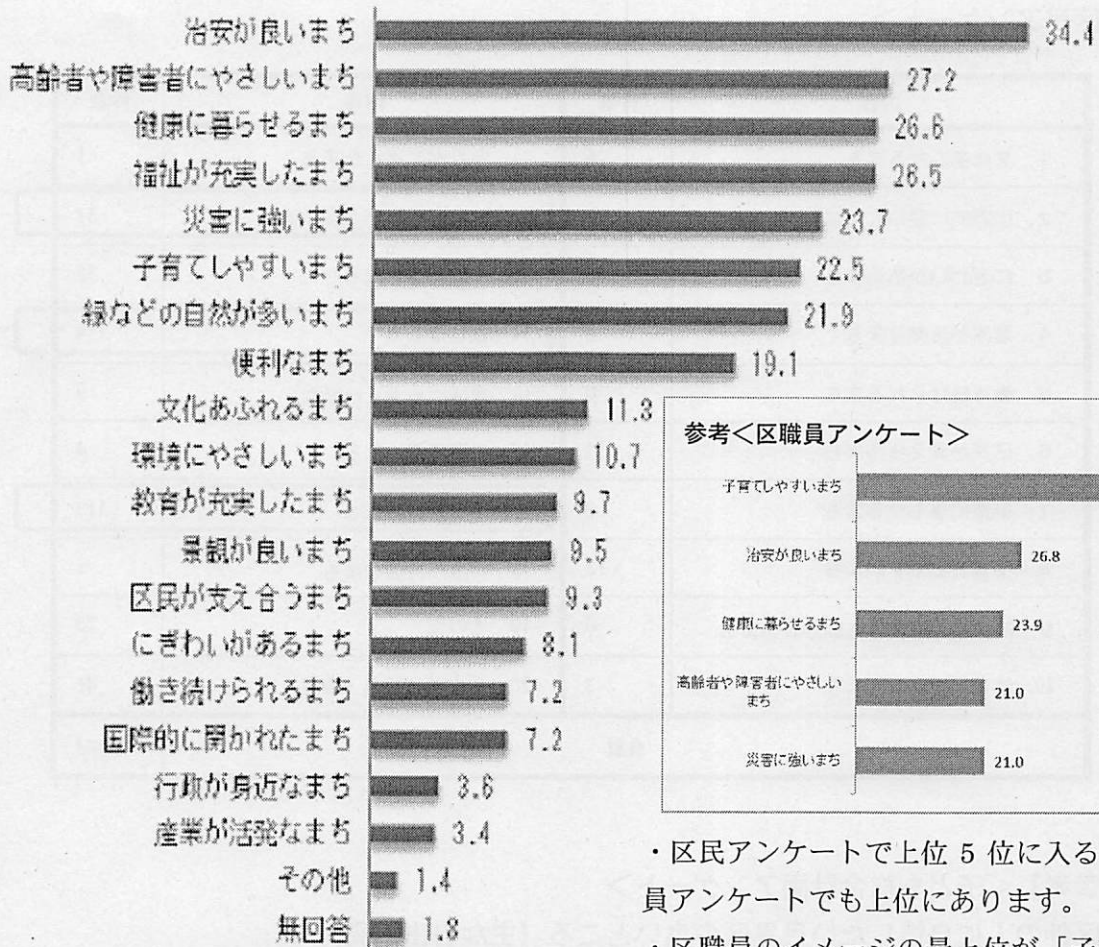
○全ての年代で、「便利なまち」「治安が良いまち」「緑などの自然が多いまち」が上位にあり、これらは、まちの魅力に関する回答とも一致しています。

○年代別で見ると、「にぎわいがあるまち」は10歳代～50歳代と比較し、60歳代～80歳以上では順位が低くなっています。にぎわいの捉え方は、年代によって異なることも考えられます。

○年代別で見ると、70歳以上の区民は「健康に暮らせるまち」のイメージを上位に挙げており、健康増進に係る施策が肯定的な評価につながっているものと思われます。

(2) 将来期待する目黒区の都市像

<区民アンケート> 単位：% n=857



- ・区民アンケートで上位 5 位に入る項目は区職員アンケートでも上位にあります。
- ・区職員のイメージの最上位が「子育てしやすいまち」となっているのは、アンケートの対象者の半数が 20 歳～30 歳代であり、子育て環境に関心が高い世代であるためと推測されます。

○全ての年代で「治安が良いまち」が上位に挙がっています。現在のイメージでも「治安が良いまち」が高いことから、将来にわたって守られていくことが強く望まれているものといえます。

○年代別で見ると、40 歳代までは「子育てしやすいまち」が、50 歳代以上は「高齢者や障害者にやさしいまち」が上位に挙がっており、世代ごとの期待がはっきりと分かれる形となっています。

2 目黒区のまちの魅力について

目黒区のまちの魅力と感ずるところ（場所、地域、まちの雰囲気など）を自由に記入してもらいました。

<区民アンケート>

内容	件数	内容	件数
1. 文化あふれるまち	25	11. 福祉が充実したまち	1
2. 国際的に開かれたまち	2	12. 緑などの自然が多いまち	87
3. にぎわいがあるまち	22	13. 景観が良いまち	32
4. 産業が活発なまち	6	14. 便利なまち	114
5. 働き続けられるまち	0	15. 環境にやさしいまち	9
6. 区民が支え合うまち	11	16. 災害に強いまち	4
7. 健康に暮らせるまち	0	17. 治安が良いまち	113
8. 子育てしやすいまち	3	18. 行政が身近なまち	1
9. 高齢者や障害者にやさしいまち	0	19. その他	70
10. 教育が充実したまち	3	20. その他（意見・要望）	41
合計			544

【参考】<子ども総合計画アンケート>

○区外の人に自慢したい目黒区の良いところ（主な自由意見）

便利なまち

交通の便がよい／活気がある
／都会／店がたくさんある／
おいしい店が多い

治安がよいまち

犯罪が少ない／静かなところ
／安全で住みやすい／優しい
人が多い／地域のつながり／
あいさつ

緑などの自然が多いまち

目黒川／桜並木／公園が多い
／大きな公園がある／街がき
れい／寺社周辺の緑

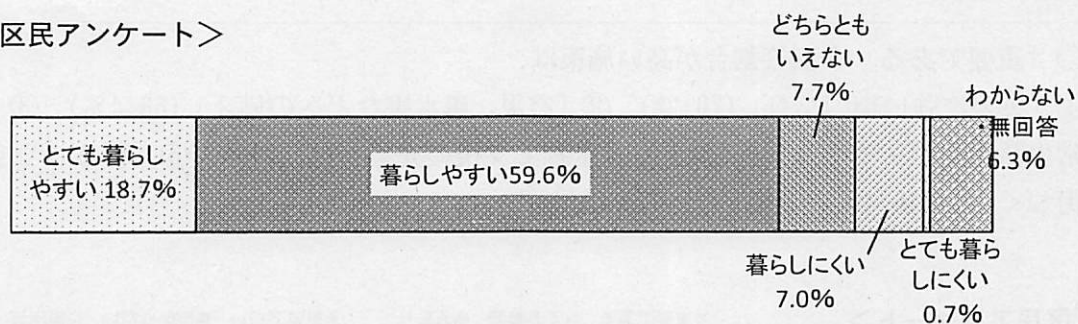
文化あふれるまち

さんま、さんま祭り／祭りや
イベントが多い／図書館／有
名人がいる／文化財が多い
／歴史ある寺社

3 暮らしやすさについて

現在住んでいるまちの暮らしやすさを「とても暮らしやすい」～「とても暮らしにくい」の5段階と、「わからない」から1つ選択し、その要因を3つまで選んでもらいました。

<区民アンケート>



○ 暮らしやすいと感じる点(複数回答、上位5位)

1. 交通の便が良い 77.2%
2. 買い物など日常生活が便利 58.0%
3. 治安が良い 35.9%
4. 街並みや街の雰囲気が良い 26.7%
5. 緑・公園などの自然環境が良い 24.6%

✖ 暮らしにくいと感じる点(複数回答、上位5位)

1. 物価が高い 42.4%
1. 住宅条件(広さ、日当たり、家賃など)が悪い 42.4%
3. 子育て支援が充実していない 25.8%
4. 道路・橋りょう等の都市基盤の整備が不十分 16.7%
5. 買い物など日常生活が不便 15.2%

○暮らしやすいと感じる理由は、「便利」「治安が良い」「街並み・自然環境が良い」という点が挙げられており、これらは区の現在のイメージやまちの魅力の回答とも重なっています。

○暮らしにくいと感じる点には、物価や住宅条件など経済的な環境要因が多く挙がっています。

4 区政に対する意識調査について

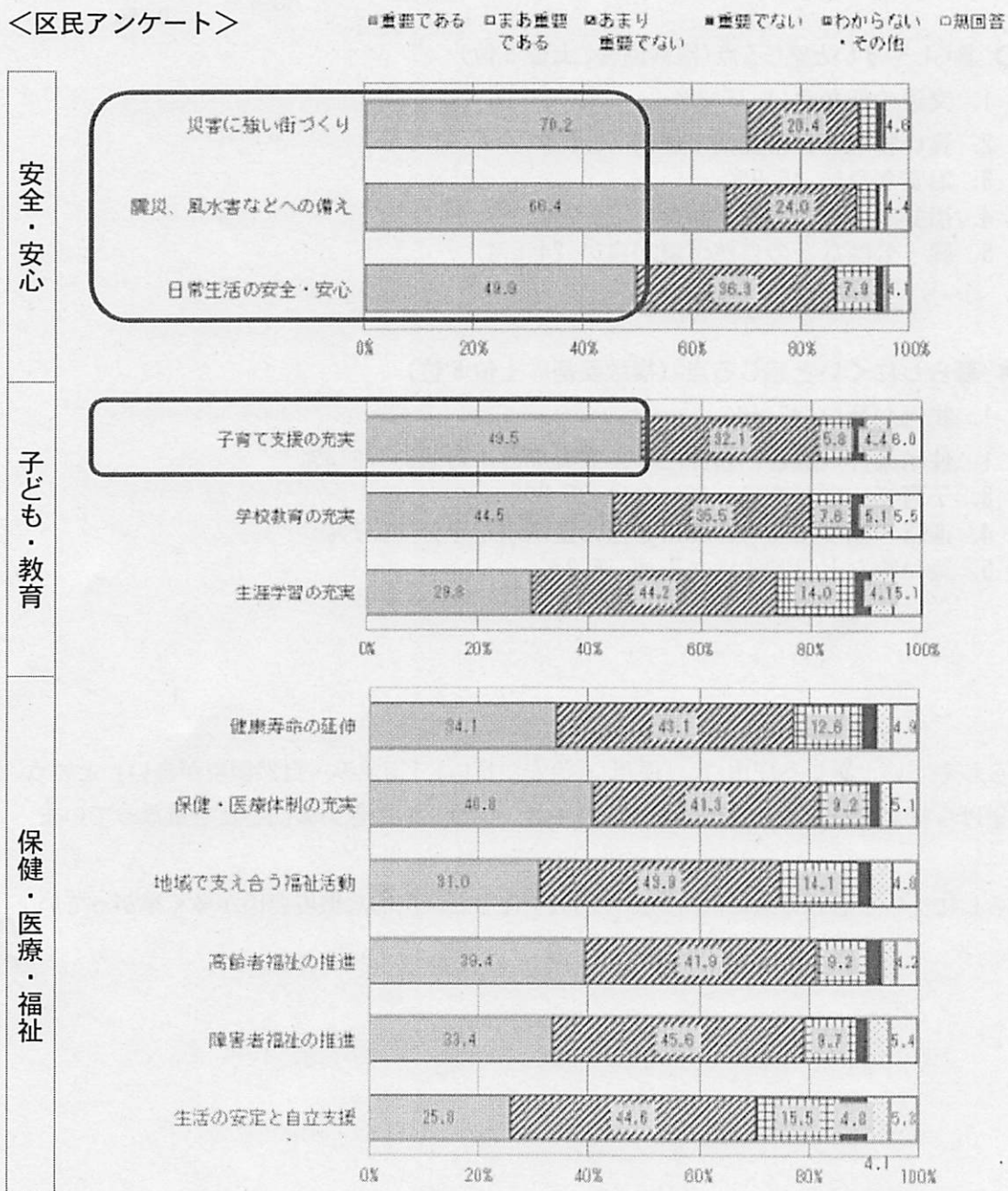
(1) 施策の重要度について

今後 10 年間で目黒区の施策としてどのような取組を重視していくべきか、31 の区分ごとに主な施策を示し、「重要である」～「重要でない」の 4 段階と「わからない」の中から 1 つ選んでもらいました。

○「重要である」の回答割合が高い施策は、

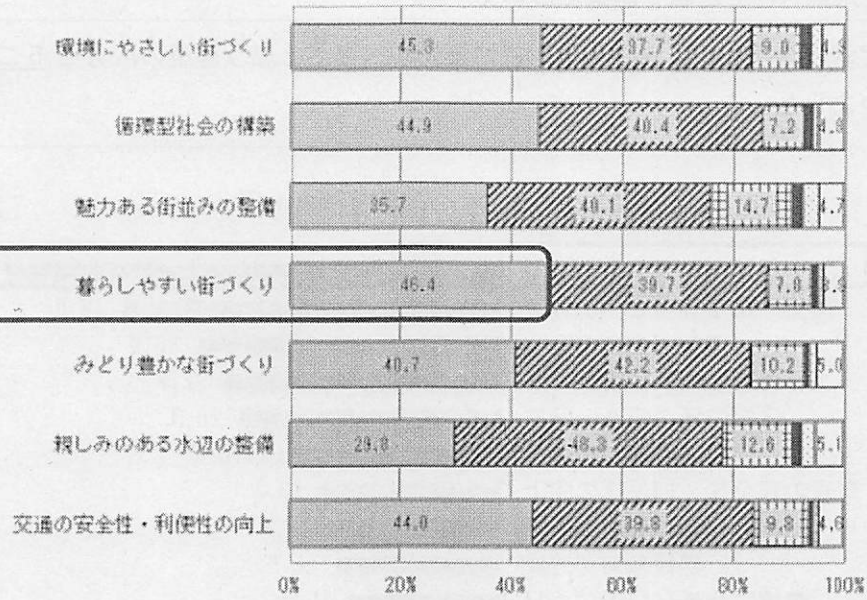
①「災害に強い街づくり」(70.2%)、②「震災、風水害などへの備え」(66.4%)、③「日常生活の安全・安心」(49.9%)、④「子育て支援の充実」(49.5%)、⑤「暮らしやすい街づくり」(46.4%)の順となっています。

<区民アンケート>

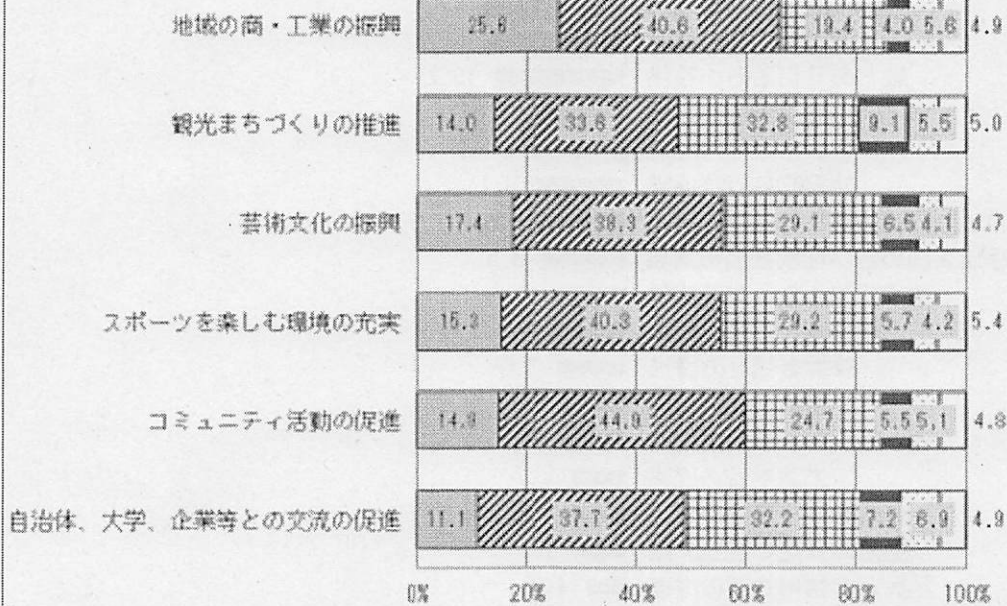


■重要である □まあ重要 □あまり重要でない ■重要でない □わからない □無回答・その他

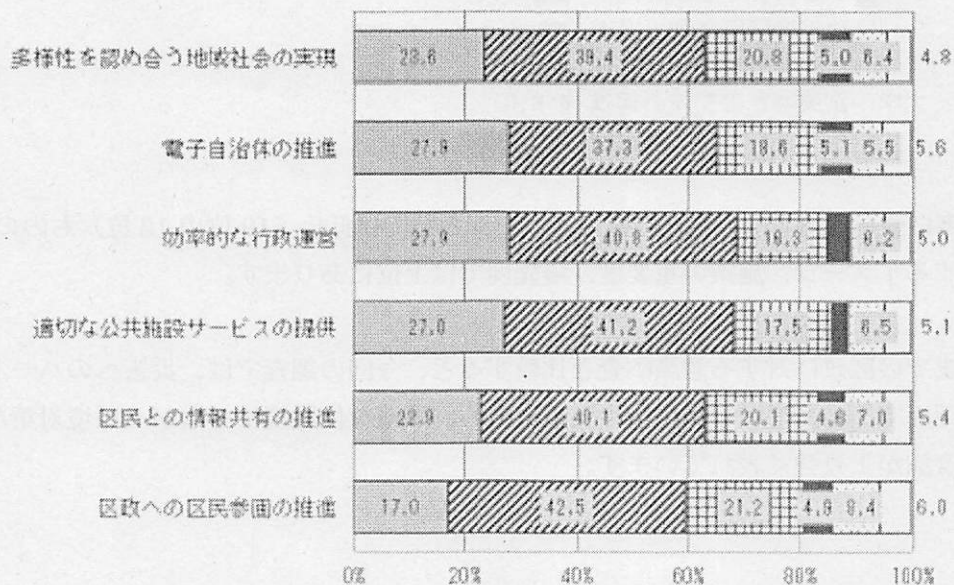
都市環境



地域活性化

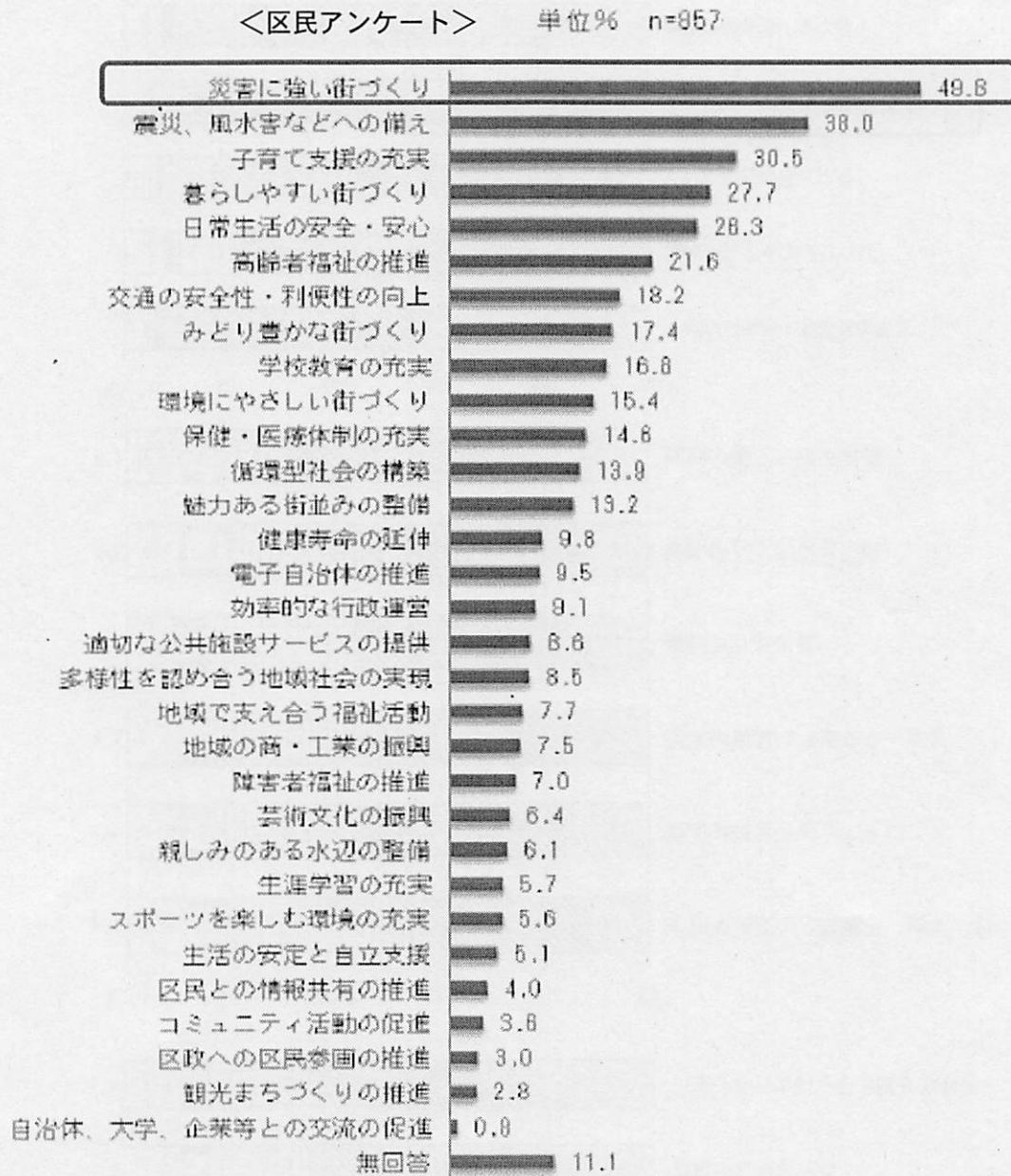


行政運営



(2) 優先すべきだと思う施策について

前問で示した 31 の区分のうち、特に優先すべきだと思う施策の区分を 5 つまで選んでもらいました。



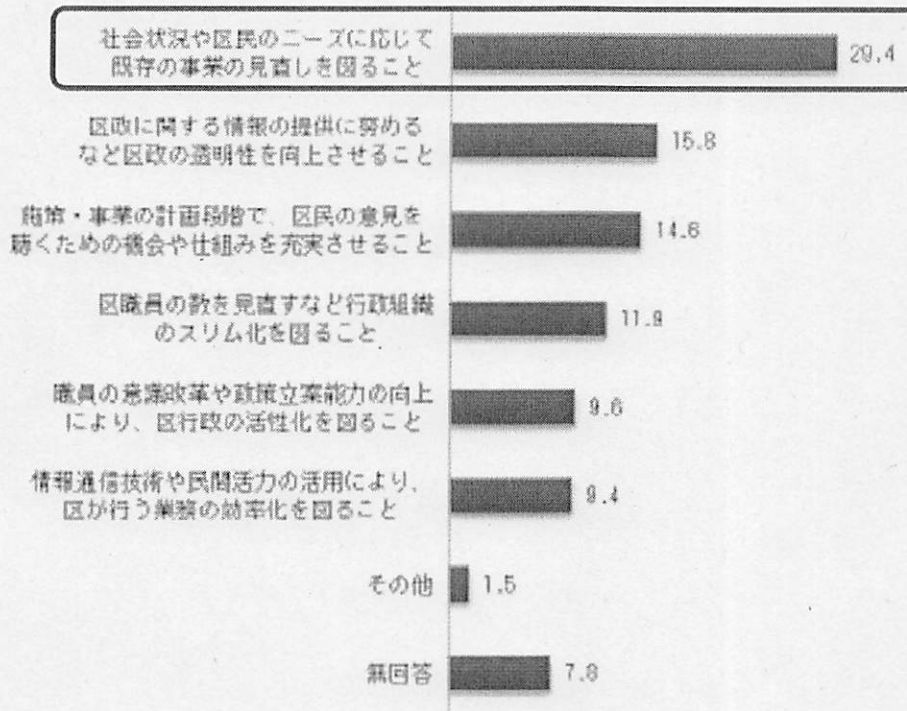
○「災害に強いまち」は、現在の区のイメージとしては低い（19位中13位）ものの、将来に期待するイメージ、施策の重要度、優先度では上位にあります。

○これまでの区政に対する意識調査と比較すると、今回の調査では、災害へのハード・ソフトの両面での備えや、日常生活の安全・安心、快適な住環境につながる環境対策などを求める意識がより強く表れています。

5 区政の進め方について

今後の区政の進め方について、最も必要だと思われることを1つ選んでもらいました。

<区民アンケート>



○回答者全体の約3割からの回答が集まったのは、「社会状況や区民のニーズに応じて既存の事業の見直しを図ること」です。

○年代別で見ると、10歳代から60歳代では「社会状況や区民ニーズに応じて既存の事業の見直しを図ること」が、70歳代では「区職員の数を見直すなど行政組織のスリム化を図ること」が、80歳代以上では「区政に関する情報の提供に努めるなど区政の透明性を向上させること」が最上位となっています。

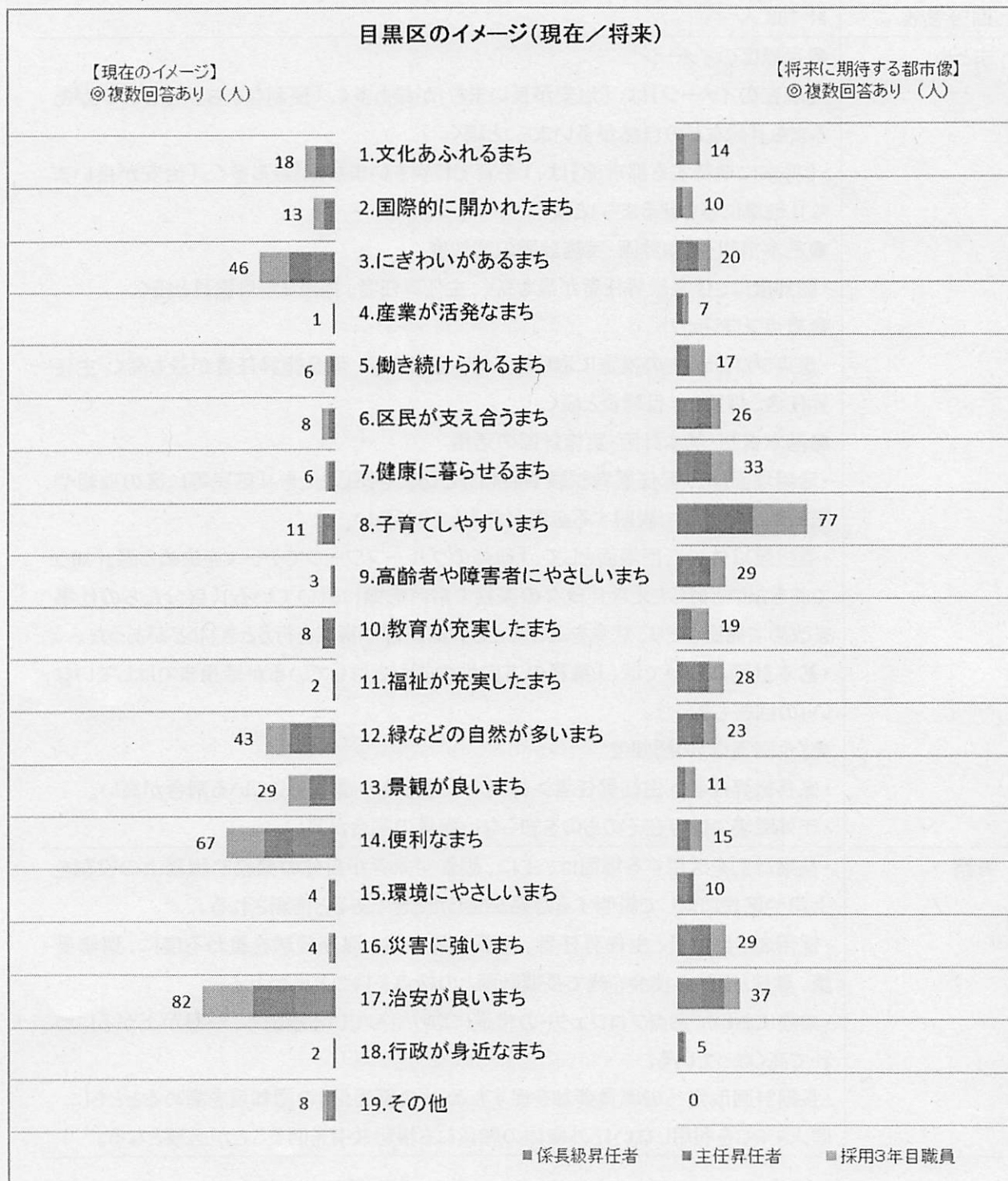
1 実施概要

対象者	平成30年度係長級昇任者、平成30年度主任昇任者、採用3年目職員 計 146 人 ※長期休業・休職中の職員は対象外とした。
実施期間	平成30年11月12日(月)～11月30日(金)
調査方法	電子(グループウェアのアンケート機能)、紙(交換便)
回答者数	計 138 人
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●目黒区のイメージ ・【現在のイメージ】は、「治安が良いまち」が最も多く、「便利なまち」「にぎわいがあるまち」「緑などの自然が多いまち」と続く。 ・【将来に期待する都市像】は、「子育てしやすいまち」が最も多く、「治安が良いまち」「健康に暮らせるまち」と続く。 ●基本構想・基本計画・実施計画の認知度 ・認知度は、係長級昇任者が最も高く、主任昇任者、採用3年目職員と続く。 ●重点プロジェクト ・重点プロジェクトの推進に取り組んでいる割合は、係長級昇任者が最も高く、主任昇任者、採用3年目職員と続く。 ●基本構想・基本計画・実施計画の活用 ・活用場面は、「昇任選考試験や面談など必要を感じたとき」「区民等に区の実情や区政運営について説明する必要があるとき」が多い。 ・選択肢以外の活用場面として、「研修のグループワークでテーマを決める際」「知っておきたいと感じたとき」「日々の業務で常時念頭に置いている」「自分たちの仕事を改めて見直したり、意見を上げるとき」「館運営や事業を行うとき」などがあつた。 ・基本計画については、「業務の方向性の指針とはしているが活用まではしていない」の回答もあつた。 ●『企画通信』の認知度 ・係長級昇任者>主任昇任者>採用3年目職員の順に読んでいる割合が高い。 ・庁外職場では存在そのものを知らない職員の割合が高い。
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・長期計画を活用する場面は、主に、調査対象者が自分の業務や職務上の役割を上司や区民に対して説明する必要が生じたときであると推測される。 ・採用3年目職員、主任昇任者、係長級昇任者と職務経験を重ねる度に、研修受講、昇任・面談の機会を経て長期計画との接点を持つと思われる。 ・業務において重点プロジェクトの推進に取り組んでいる意識も、職層が上がるにつれて高くなっている。 ・長期計画改定への職員参加を促すため、『企画通信』の認知度を高めるとともに、個人でPCを利用しない庁外職場の職員にも情報共有を図ることが必要となる。

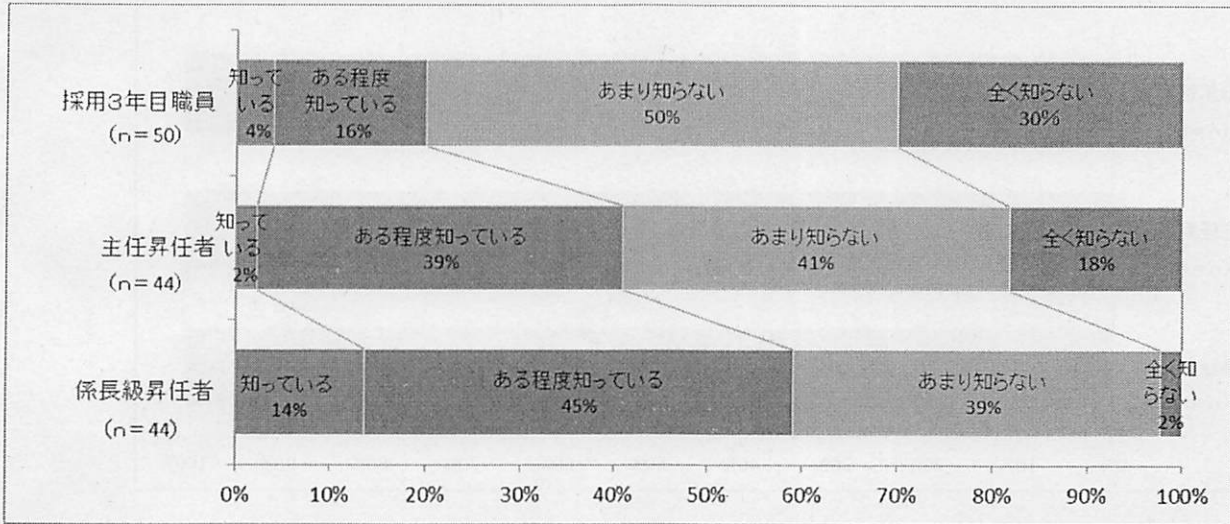
2 集計結果

Q1 あなたにとって、現在の目黒区のイメージに最も近い都市像を選んでください。(3つまで選択)

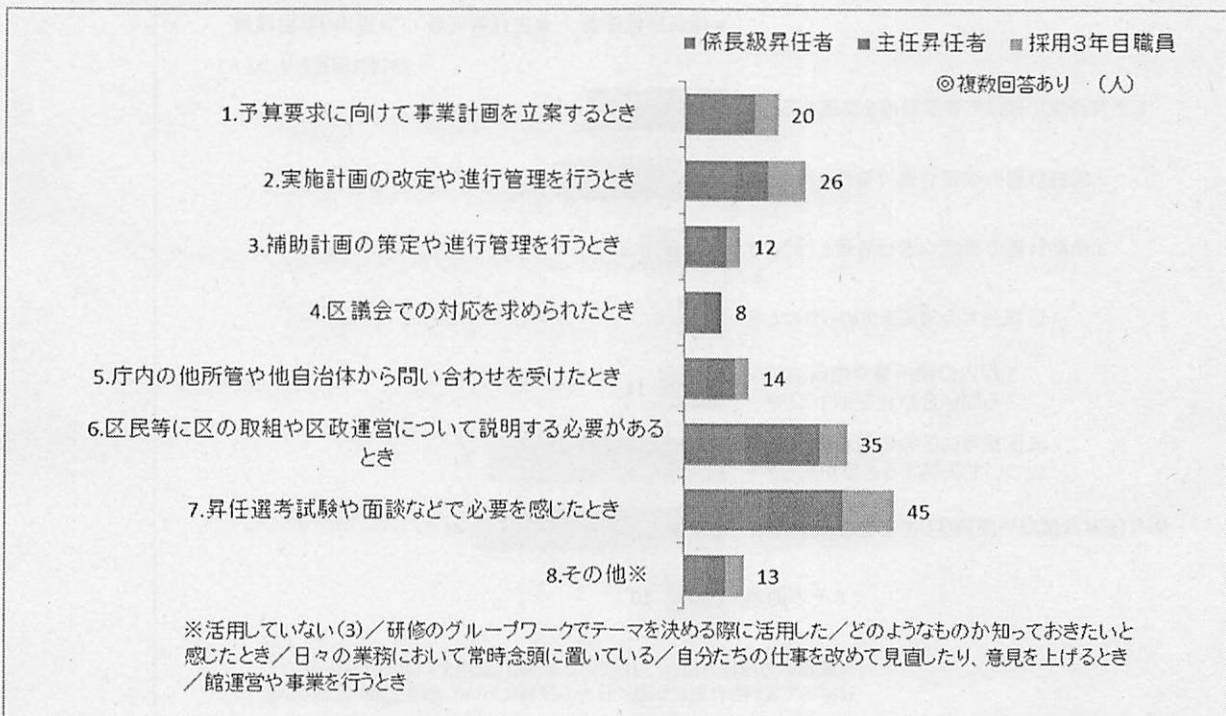
Q2 あなたは、将来の目黒区について、どのようなまちになってほしいとお考えですか。あなたの期待するイメージに最も近い都市像を選んでください。(3つまで選択)



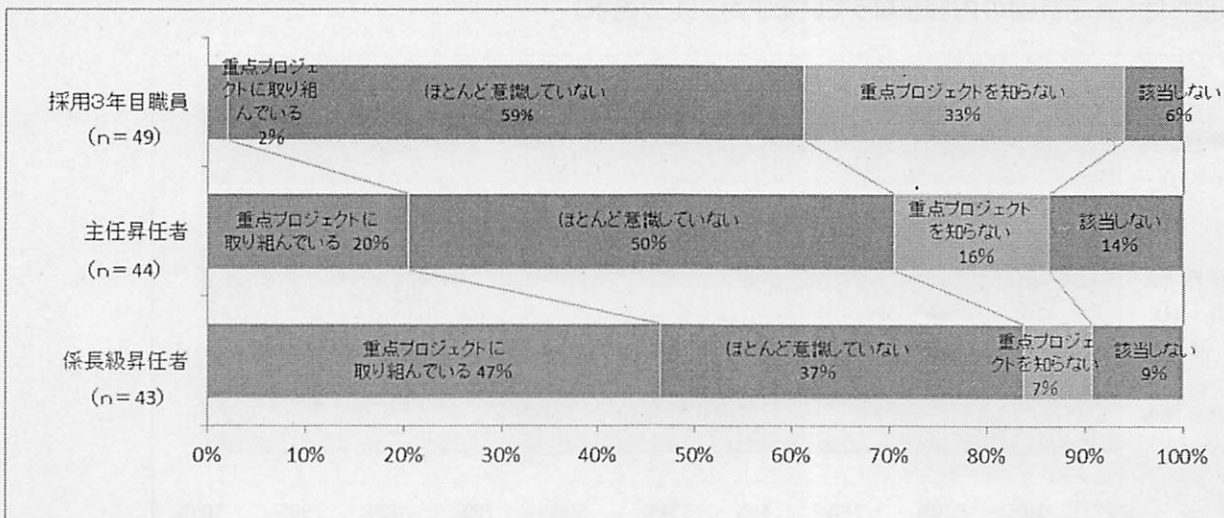
Q3 あなたは、基本構想の内容を知っていますか。(1つ選択)



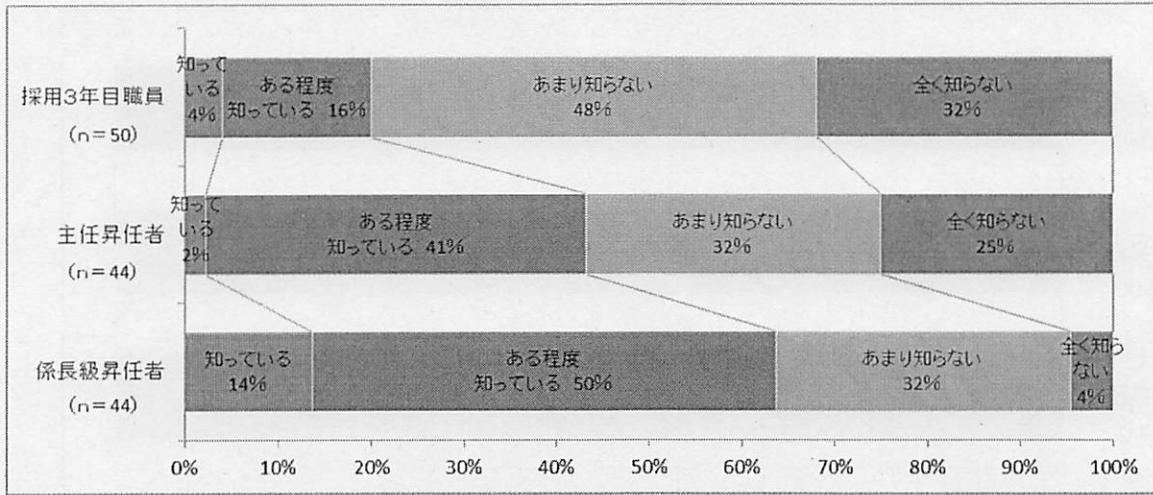
Q4 (Q3で「1」～「3」と回答した方にお聞きします)あなたは、基本構想をどのようなときに活用していますか。(当てはまるものすべてを選択)



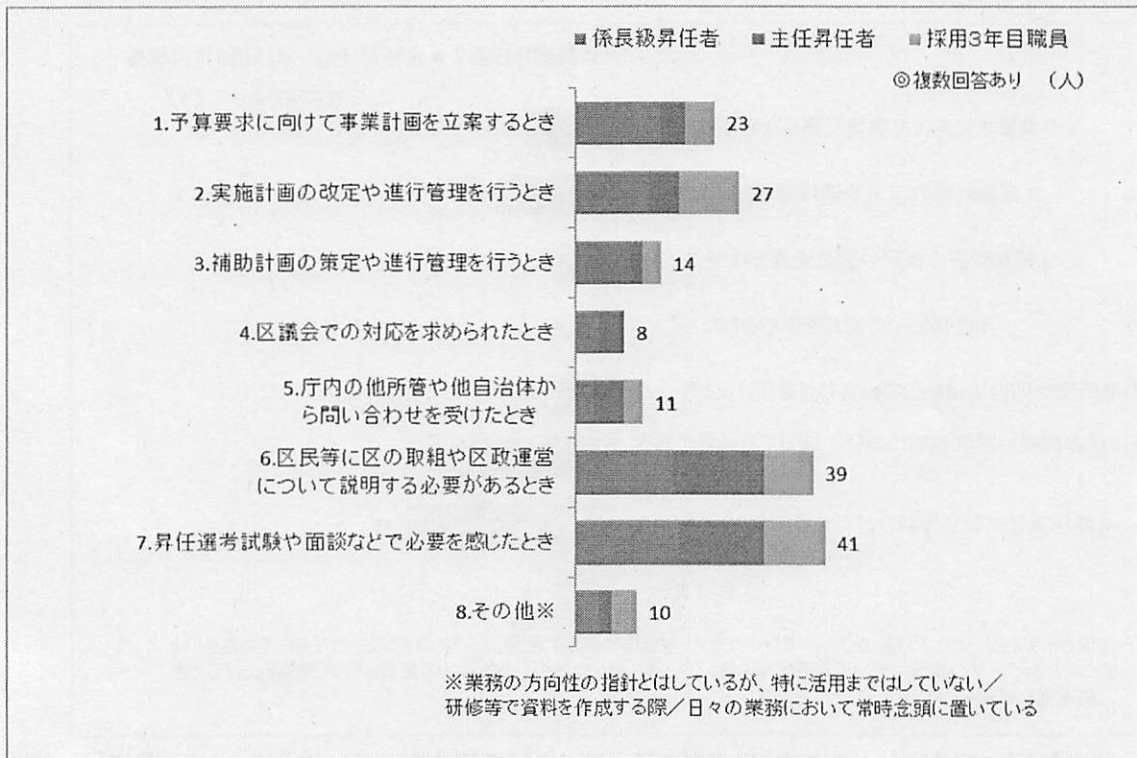
Q5 あなたは、基本計画に定められた6つの「重点プロジェクト」をどの程度知っていますか。(1つ選択)



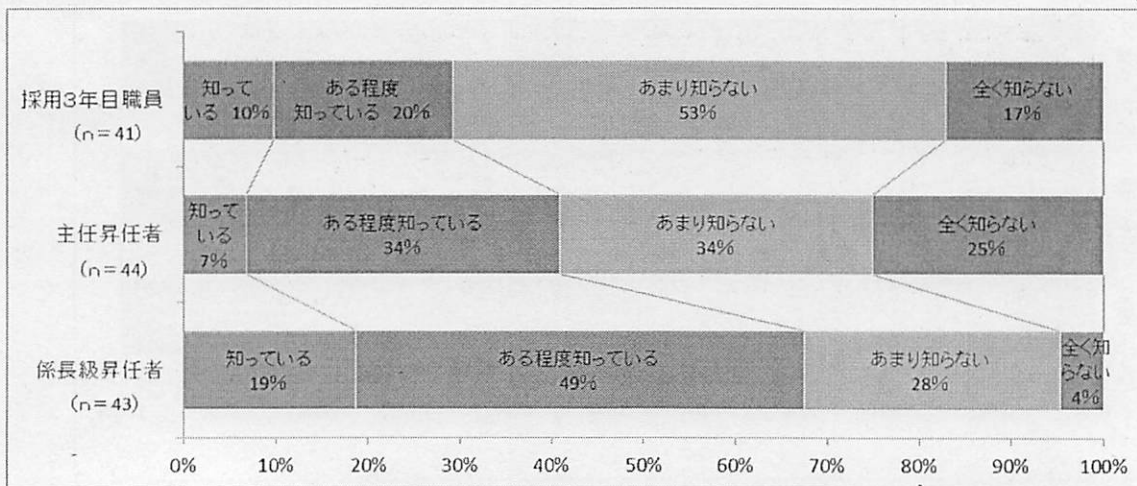
Q6 あなたは、基本計画の内容を知っていますか。(1つ選択)



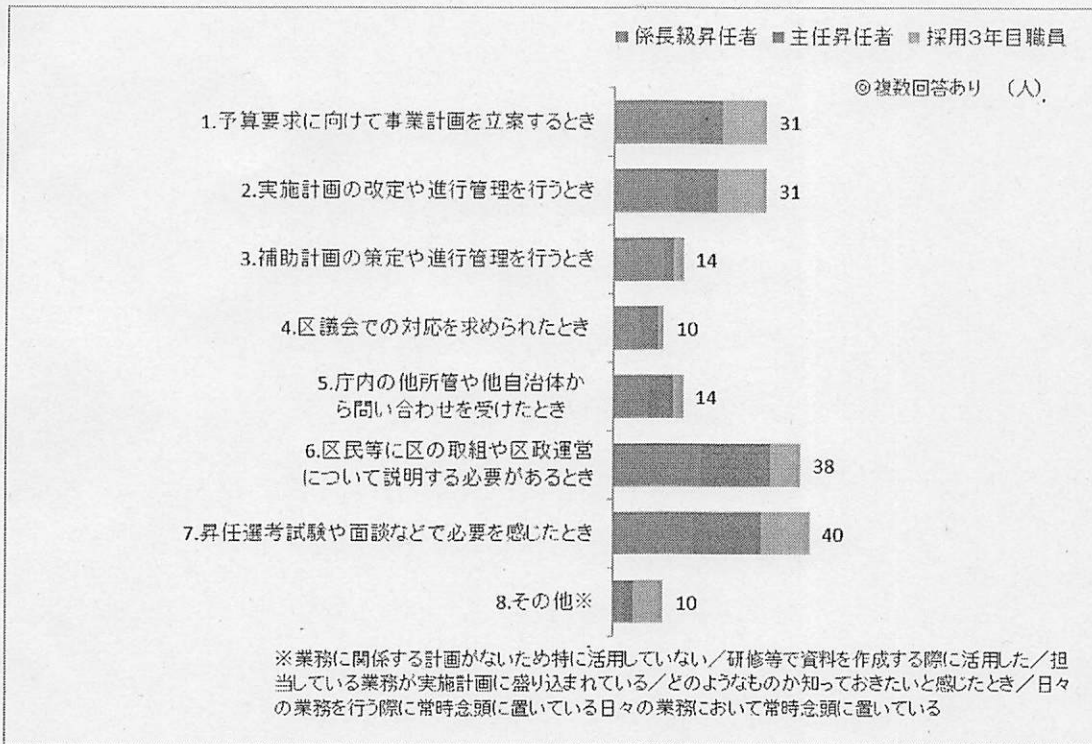
Q7 (Q6 で「1」～「3」と回答した方にお聞きます)あなたは、基本計画をどのようなときに活用していますか。(当てはまるものすべてを選択)



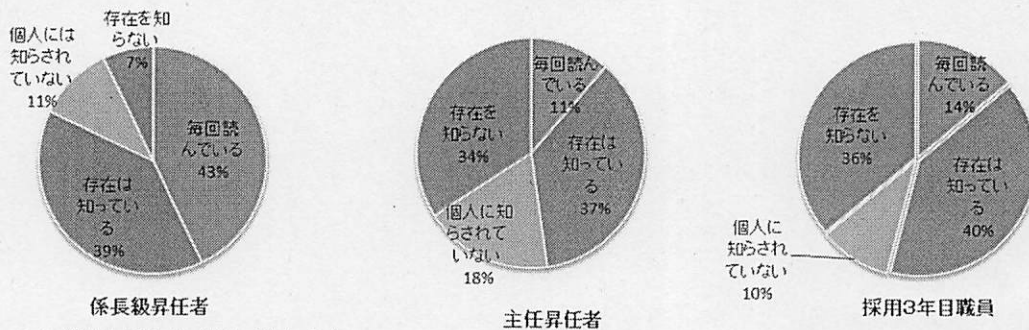
Q8 あなたは、実施計画の内容を知っていますか。(1つ選択)



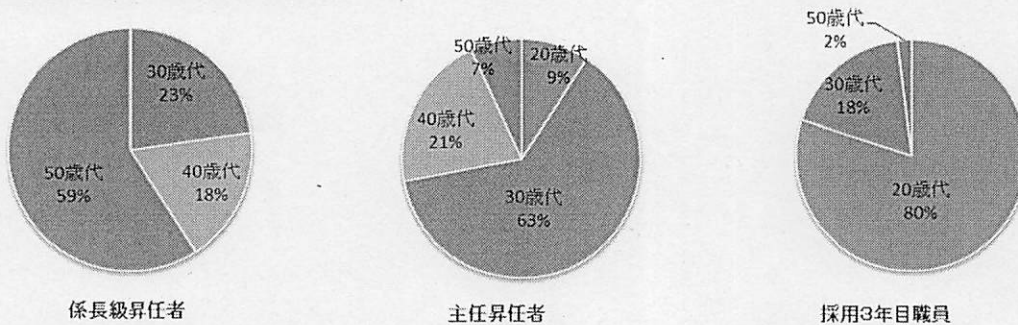
Q9 (Q8 で「1」～「3」と回答した方にお聞きします)あなたは、実施計画をどのようなときに活用していますか。
(当てはまるものすべてを選択)



Q10 あなたは、グループウェアのメールで係コードに送信している『企画通信』をどの程度知っていますか。
(1つ選択)



Q11 あなたの年齢はどれに当たりますか。



Q12 あなたの職種はどれに当たりますか。

